

ポーラス竹炭（P竹炭と略称）を用いたパンジー生育の効果

2018年6月15日 福島 巖

P竹炭を土壤に施すとどのような効果があるかをトライした。

実験の目的と方法は以下の内容

パンジーの苗を買ってきて越冬させる。3月下旬までプランターで育てて根毛を成長させる。その元気に育った苗を畑に植え込んで育てると5月下旬頃まで花が楽しめるのではないかと計画した。

新しい花の作り方の提案



- ① プランターに植え込む時期：霜が降りる2週間前までに行う。
実際は11月7日
- ② 植え込む条件
用土は肥料の入ってないもの。肥料はコウモリの糞
(商品名バットグアノ)でP分を補給する。
表面のマルチング
P竹炭を土量の約10%を表面に散布して覆う。
1月は雪が降ったり寒さがきつかったが追肥や給水は一切せず。
- ③ 畑への移植
3月18日畑に土の付いた苗を丸ごと入る穴をあけ、マルチに使ったP竹炭とバットグアノを底に敷いて植え込む。



3月18日 移植直前の苗の姿 左P竹炭あり、右なし



3月18日P竹炭ありのグループ植え付け



4月4日P竹炭なしグループ、タイヤ周りに配置した状況



4月24日の状況 追肥は油かすや骨粉など。



5月25日 P竹炭ありの状況 花の間にこぼれ種の昼咲き月見草が賑わっている



5月25日 竹炭なしの状況

④ P竹炭の効果

2017年11月から越冬して6月まで咲き続けて予想したように楽しませてくれた。野菜でもすばらしい効果があったが花の場合も本に書いてあるような液肥や化成肥料を与えなくてもきれいな花を付けていました。



6月12日畑から撤去し水洗いした後撮影した
左P竹炭なし(4ヶ) 右P竹炭あり(4ヶ)
途中で油かすなど有機肥料を補給した
根の長さ P竹炭あり22cm、なし14~15cm